【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和1年6月27日(2019.6.27)

【公開番号】特開2018-19119(P2018-19119A)
【公開日】平成30年2月1日(2018.2.1)
【年通号数】公開・登録公報2018-004
【出願番号】特願2016-145093(P2016-145093)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｋ　5/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｋ　5/26　Ｓ

【手続補正書】
【提出日】令和1年5月17日(2019.5.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１０】
このように、図１３の比較例では立ち下がりエッジ及び立ち上がりエッジを遅延可能となっている。しかしながら、各インバーターの高電位側電源と低電位側電源の両方にトランジスターが挿入されているので、その出力信号（ＸＯＵＴ、ＯＵＴ）の立ち下がりエッジ及び立ち上がりエッジがともになだらかに変化する。このように電圧レベルの遷移期間が長くなると、その信号が入力されるロジック回路（例えば遅延ユニットやインバーター、バッファー等）で遷移期間に流れる貫通電流が大きくなる可能性がある。